

内閣支持率低迷のまま通常国会—首相に厳しい局面も

今年の“松の内”が明けて間もない1月9日早朝、岸田首相は羽田空港を立ちフランス、イタリア、英国、カナダ、米国など欧米諸国歴訪の外遊に旅立ち、15日午後帰国した。今年5月19日—21日広島で開催されるG7（先進7カ国首脳会議）の議長国として、各国首脳にG7への協力要請するのが目的だが、米国のバイデン大統領に昨年末閣議決定した①防衛費をGDP（国内総生産）の2%まで引き上げる②敵基地攻撃を保有する—などを内容とする画期的な「安全保障3文書」を説明することが最大の任務であろう。しかし、今回の外遊は「ウクライナのキーエフ訪問・ベレンスキー大統領との電撃会談の可能性」が底にあったようで、各国首脳会談もチグハグで同行の首相周辺や記者団はふり回されたという。

希望していたウクライナ訪問も叶わず、その後の大手マスコミ各社の1月の内閣支持率に関する世論調査結果は依然として低迷するばかり。大手紙による内閣支持率は軒並み30%台に落ち込み、いつも厳しい数字が出る時事通信社では昨年10月の27.4%を下回り、26.5%と“危険水域”とされる20%台を4ヵ月連続して記録してしまった。さらに驚かせたのは、恒例の1月4日の伊勢神宮参拝後の記者会見で“異次元の少子化対策”を打ち出し、今年6月までに具体策を提示すると表明した。この具体策は予算を伴うのは確実であり来年度からの施策を前倒しに明らかにしたわけだが、この考えも「防衛予算」同様に、まず国民に議論を呼びかけるのではなく岸田首相が念頭に置いていることを述べたもの。小池百合子都知事の「子供手当」に刺激された様子で周辺は「余りにも唐突だ」と驚きを隠せず「熟慮の政治」からは程遠い。

またこういう「防衛予算や異次元の少子化対策」表明に対して、自党内では「国民から税金をお願いするなら、衆院を解散して国民の信を問うべきだ」と騒ぎ、松野官房長官が「衆院解散は内閣総理大臣が決める。それ以外の方が触れてはならない」と発言に釘を刺した。菅義偉前首相も調子に乗ったのか、

「首相になれば派閥を離れるのが慣例だ」と「月刊文芸春秋正月号」で述べたほか、「防衛予算」について「政府・与党内での議論が不十分」などと筋論だが、結局、最近出番が少ない“菅氏の独白”なのではとの受け止め方が一般的。全く政局にはならず仕舞いでやはり次期候補足り得る人材が払底している自民党内の事情から、岸田首相も「今のところ今年は解散を考えていない」などと言いたい放題。ある霞が関の官僚は「自分の考えを国民は理解してくれると確信しているようだ」と苦笑い。「広島サミット」後には衆院解散も有り得ると永田町では見られているが、この官僚は「安倍（晋三氏故人）さんや菅さんが内閣人事局をテコに役人を締め付けていた。岸田さんの方が対応しやすい」と“霞が関”好みの「岸田体質」に違和感がない様子。23日から通常国会が召集されるが、熟慮を欠く首相の前途は厳しく衆院解散を選ばざるを得ない場面もあるかもしれない。（憲）

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「アメリカとインドの偉大なる投資家の共通点」

★★

アメリカのウォーレン・バフェット氏と、インドのウォーレン・バフェットと称されたラケシュ・ジュンジュンワラ氏は、株式投資において以下のような共通点を持っていました。

● 過度な分散投資はしなかった。

アメリカのバフェット氏は、「自分は意味のある金額のお金を、少数の会社に投資したい」と語っています。インドのジュンジュンワラ氏は、「テーブルの上にはたくさんの料理が並んでいるが、自分が消化できる分だけ食べなさい」とアドバイスしています。

両氏の運用の特徴は、長期集中投資です。多数の企業への、意味のない金額の分散投資は行っていません。一方、日本では殆どの投資の専門家や金融機関が、「卵を一つの籠に盛るな」とやたらと分散投資を奨めています。そして、その帰結がインデックス・ファンドへのほったらかし投資では、寂しいですね。

● ブランド企業への投資が成功の原点だった。

バフェット氏は、1972年に投資したシーズキャンディーズが、これまでで最も学びが大きかった投資物件だと言っています。このアメリカ西海岸発祥の箱詰めチョコレートの製造・販売会社が、バフェット氏にとっての「夢のビジネス」

でした。彼は、同社のブランド価値に基づく価格決定力に注目しました。そしてその投資で得られた8,000%のリターンを、後にコカ・コーラ他の優良企業への投資に使いました。

一方で、ジュンジュンワラ氏の最初の投資の成功は1986年、タタ・グループのタタ・ティーでした。この会社の紅茶ブランドがインドで根付き始めた頃です。インド人に信頼されたグループの飲料の会社から、彼は投資の手法を学びました。その後も彼の投資先の多くはタタ・グループの企業です。

両氏とも、身近でブランド価値のある個別企業への投資が成功の原点でした。



シーズキャンディーズ



タタ・ティー

● 自国を信じていた。

バフェット氏は、“Never bet against America”（アメリカの負けに賭けてはいけない）という言葉をよく使います。ジュンジュンワラ氏の信念は“Trust in India”（インドを信じる）です。このように自国の未来を強く信じられれば、株式市場が多少荒れても長期で投資できますね。

両氏とも自国の未来を強く信じていました。

両氏が偉大なる投資家になったのは、明るい未来が信じられる国で生活し、自分が価値を見出した将来性のある企業に集中投資したからのようです。



BRICS



GAFAM



INDIA

★★

ムッシュ望月の今月の相場展望+映画

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★

1, 相場展望：懐疑の壁を登る

今年の相場は、昨年同様の荒れ相場が継続する可能性は残されているが、年末年始の日経平均を見る限り下値は堅いと言える。2022年10月3日安値 25621 円を2023年1月4日安値 25661 円が割り込まなかったこと、また1月3日、4日、5日の3日が2勝1敗と幸先の良いスタートを切った。12月19、20日の日銀の金融政策の転換により全体相場に亀裂が入ったように見えたが、何とか踏みとどまったようだ。1月17日、18日の日銀金融政策決定会合でも12月同様に金融政策があってもおかしくない雰囲気であったが、何の変更もなく肩透かしとなった。金融政策の変更を読んでいた筋は、円高のポジションを買い戻さざる状況に置かれ、131 円台までの円安に振れた。しかし、その後は128 円台で膠着状態である。2月には日銀総裁候補が決まり、更に2名の副総裁が決まることで、今後の政策の読む動きが出てくることになろう。1月23日には国会が始まり、予算が予想通りに決まるのか、内閣不信任等で議会議長が立ち往生するようなことが起きるのか、市場は着実に織り込んでいくことになろう。企業業績については、為替の乱高下が激しいことから為替利益となるか為替損となるか読みにくい、それだけに決算を先読みして投資をするよりは決算発表後に安心して投資した方が当面は良さそうである。米国市場も金利動向に揺れるのは日本市場同様であるが、FOMCによる金利引き上げも最終段階に入り、金利の上昇幅よりも、景気の動向に投資家の視線は移っている。不安要因であったウクライナ問題は長期戦、コロナ問題は感染症の2から5になることで不安は解消方向、中国の不動産問題は政府が大量の資金投入で乗り切る、2022年の過去最大の赤字 19兆 9713 億円も為替の安定化、原子力発電の再稼働（電力料金の安定化）が始まる等々、変化の兆しは見えだしている。「強気相場は総悲観の中で芽生え、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、陶酔感の中で消えていく」、「懐疑」は今始まったばかりである。今年は、押し目買い対応で報われる年回りと考えたい。年末には31000 円を期待したい！！

今月の映画より：韓国映画「非常宣言」

昨年12月は11本の映画を読み、通算122本となり、目標の120本はなんとか突破できた。1月は「名探偵コナン」「ドリームホース」「近江商人、走る」「仮面ライダー」「嘘八百」「非常宣言」「離ればなれになっても」「そして僕は途方に暮れた」「イチケイのカラス」「She said」の10作品を20日までに観た。

韓国映画の「非常宣言」が、一番ワクワク感があったので、紹介することにします。韓国映画界を代表する俳優ソン・ガンホとイ・ビョンホが共演し、飛行機内で発生したウイルステロの恐怖を描いたパニックスリラー。飛行機恐怖症のパク・ジェヒョクは娘と共にハワイ行きの航空機に搭乗するが、離陸後まもなく乗客が相次いで謎の死を遂げ、機内は完全なパニック状態に陥る。一方、地上では飛行機を標的にしたウイルステロの犯行予告がネット上に流された。捜査に乗り出したベテラン刑事ク・イノは、その飛行機には愛妻が乗っていることに気づく。テロの知らせを聞いた国土交通省大臣スッキは、緊急着陸のために国内外に交渉を開始する。自国も含めどこの国も受け入れを拒否する。最後に残されていたのは、ある事故を契機に飛行機恐怖症になっていたパク・ジェヒョクは乗客の命を守るべく、元部下の副操縦士ヒョンスと共に奮闘し、機体が操縦不能にもかかわらず急降下着陸を強行する。手に汗握る作品である。非常事態の際、人はどんな行動をとり、国もどんな対応するのか、考えさせられました。

★★

23年02月以降のイカスのイベント情報

★★

株式投資勉強会：

02月01日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

02月09日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

02月14日（火）：16：00～サロン・ド・望月（株式投資）イカス事務所

02月16日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所（23日休日）

02月18日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

下線のイベントは自由参加です。参加費：3000円

イカス（活かす）のイベント：

イカス夏の交流会：2023年6月8日午後6時、外国特派員協会、

司会：三宅あみ氏、ミニコンサート：オペラ歌手：首代明子氏

基調講演：慶応義塾大学名誉教授 池井優氏「語られなかった戦後日本外交」

サロン・ド・知久（交流会）：参加費2000円、特集は別料金

第12回：23年1月27日（金）：18：00～21：00、倶楽部エル

カラオケ会、3時間、懐石料理＋飲み放題、6500円

第13回：23年2月17日（金）：18：00～21時、倶楽部エル

カラオケ会、3時間、懐石料理＋飲み放題、6500円

第 23 回：23 年 01 月 25 日（水）：14：00～16：00 イカス事務所

講師：市川光男（現フランス倶楽部歩く会主催）「生涯学習 一日一生」

第 24 回：23 年 02 月 21 日（火）：14：00～16：00 イカス事務所

講師：荒井凜（生き生きヘルスコーチ）「体の仕組みを知る」

第 25 回：23 年 03 月 28 日（火）：14：00～16：00 Mr カラー マジックショー イカス事務所

第 26 回：23 年 04 月 13 日（木）：14：00～16：00 築野友衣子氏 F 紙芝居 イカス事務所

第 28 回：5 月 15 日：横浜を歩く会（英国庭園） 5000 円

講師：三宅あみ氏（三越カルチャースクール等で活躍）

NPO イカス：東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

info@toushi-club.com <http://www.toushi-club.com>

★有料メルマガ毎週（日）配信中、年間 24000 円、3 ヶ月 6000 円

★勉強会年会費振込先：三菱 UFJ 銀行、新宿中央支店、普通 5 3 1 3 5 5 0

特定非営利活動法人イカス

★毎日ツイッター更新：望月純夫（証券歴 50 年、モーニングサテライト等）

☆イカス投資塾・経済セミナー参加費 3000 円、知久サロン参加費 2000 円

info@toushi-club.com <http://www.toushi-club.com>

☆「10 代で見につける株式投資の基礎知識」電子書籍発売中（アマゾン）

セブンイレブンネット書籍：<https://7net.omni7.jp/detail/>